

欧州サイバーレジリエンス法(CRA)制度の 基本的な内容から実務対応へのポイント

1名分料金で
2人目無料セミナーURLはこちら→ <https://www.rdsc.co.jp/seminar/2604102>

- ◆日時：2026年04月27日(月) 10:00～12:00
- ◆【アーカイブ配信受講：4/28(火)～5/11(月)】の視聴を希望される方は、
⇒こちら <https://www.rdsc.co.jp/seminar/2604102A> からお申し込み下さい。
- ◆受講料：1名につき44,000円(税込、資料付)

会員(案内)登録していただいた場合、通常1名様申込で44,000円(税込)から
・1名で申込の場合、**38,500円(税込)**へ割引になります。
・2名同時申込で両名とも会員登録をしていただいた場合、**計44,000円(2人目無料)**です

セミナーお申込みFAX

03-5857-4812

※お申込み確認後は弊社よりご連絡いたします。

●講師：Covalent(株) 大伴 浩二 氏

【ご略歴】
金融システム会社、総合コンサルティングファームを経てCovalentグループ参画。CRA対応プロジェクトを中心に、プロジェクト企画・支援を担当。国内、及びアジア・北米における基幹システム導入プロジェクト支援、グローバル規制対応支援、システム導入プロジェクトアセスメント等、各種のコンサルティング業務での経験を活かし、プロジェクトの企画・推進を担う

【受講対象】
・CRAの対策に取り組む必要があるが、アプローチが分からず悩んでいる方
・CRAについて理解されたい方
・欧州向けの製品開発に携わっていてCRAの知識を得たい方

【習得できる知識】
・CRA対策のアプローチ方法
・CRAで製造業者が求められる義務の概要
・CRAの基礎知識

【講演の趣旨】
本セミナーでは、IoT化の進展に伴い高まるサイバーセキュリティリスクを背景として策定された「欧州サイバーレジリエンス法(CRA)」について、その全体像から実務対応のポイントまでを体系的に解説します。CRAがデジタル機器に求めるサイバーセキュリティ要件を、製品仕様、開発プロセス、CE認証、上市後の脆弱性対応といったライフサイクル全体の観点で整理し、既存規格との関係や対象製品の考え方、施行までのタイムラインについても分かりやすく説明します。さらに、CRA対応を、実行可能な運用として定着させるための設計レイヤーやアクションプランの策定方法、具体的な対応を紹介し、CRA対応をこれから検討する企業にとって、全体理解と実務への落とし込みの双方を得られる内容となっています。

【プログラム】
1. CRA策定の背景
1-1 IoT化に伴うセキュリティリスクの高まり
1-2 欧州サイバーレジリエンス法(CRA)の策定
2. CRAが定めるデジタル機器のサイバーセキュリティ要件
2-1 CRAのポイント
2-2 CRAの全体構成と主な内容
2-3 CRAの義務内容の全体像
2-4 義務内容詳細 製品に実装すべきサイバーセキュリティ関連仕様
2-5 義務内容詳細 開発プロセスでの実施推奨事項
2-6 義務内容詳細 上市時のCE認証取得
2-7 義務内容詳細 上市後の脆弱性監視・報告
2-8 CRAの対象製品分類
2-9 CRA施行までの予想タイムライン
2-10 既存のサイバーセキュリティ規格のCRA対応状況
3. CRA対応の進め方・推奨ソリューション
3-1 あるべきCRA対応の流れ
3-2 CRA対応上の運用設計のレイヤー
3-3 CRA対応の運用設計時のポイント
3-4 運用設計のレイヤー各層における対応例
3-5 CRA対応のアクションプラン策定の進め方(推奨案)

『欧州CRA法【WEBセミナー】』セミナー申込書 ※ご希望の参加形式にチェックを入れて下さい⇒☐LIVE/☐アーカイブ

会社・大学			
住所	〒		
電話番号		FAX	

お名前	所属・役職	E-Mail
①		
②		

会員登録(無料) ※案内方法を選択してください。複数選択可。

☐Eメール ☐郵送

● セミナーの受講申込みについて ●

必要事項をご明記の上、FAXでお申込み下さい。弊社で確認後、必ず受領のご連絡をいたします。受講用URLは後日お送りいたします。

セミナーお申込み後のキャンセルは基本的にお受けしておりませんので、ご都合により出席できなくなった場合は代理の方がご出席ください。

お申込み・振込に関する詳細はHPをご覧ください。
⇒ <https://www.rdsc.co.jp/pages/entry>

個人情報保護方針の詳細はHPをご覧ください。
⇒ <https://www.rdsc.co.jp/pages/privacy>